

事務事業名	エコツーリズム推進事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	16	終了	26
H27担当課等名	観光課	H27係等名	エコツーリズム係	H26係等名	エコツーリズム担当							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり									
目的	対象(誰・何を)	地域資源						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	地域資源が保全され、且つ活用されている状態にする							市内各地区		20地区	
	向上させたい上位施策の成果指標	地域での受け入れ体制づくり							広域地域(下伊那、駒ヶ根、伊那)		15地区	
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	定性目標	来訪者によって経済効果を得ながら、地域環境保全や活性化につながる受け入れ体制をつくる。										
事業概要	<p>エコツーリズム推進事業をとおり、地域資源の可能性の認識が広がり、エコツーリズムの取り組みを始める地域や個人が増加してきた。この事業が、以下の①～③のように環境保全、経済効果、及び地域活性化へつながるものとして期待されている。</p> <p>①環境保全: 地域の自然環境・文化資源に対しては、それらの価値が維持されるよう保全され、また向上する。</p> <p>②観光振興: 観光業に対しては、新たなニーズに的確に対応し、新たな観光需要を起こすことができる。</p> <p>③地域振興: 地域社会に対しては、雇用の確保、経済波及効果、住民が地域に誇りを持つことなどにより地域振興につながる。</p>											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 ウォーキングコースづくり (1) 街道や信濃路自然歩道の資源調査・整備 (2) 里山ウォーキングルートの調査				1 (1) ルート調査・整備 (2) ルート調査				1 (1) 5回 (2) 2回			
	2 登山者、ウォーカーの実態調査 (1) 実態調査(登山者数、動向調査)				2 (1) 実態調査				2 (1) 3カ所			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		622	740	704	0	[26特定財源] (そ) 寄附金 100千円						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他				100								
一般財源		622	740	604								
人件費計(千円)②		715		2,146								
正規職員所要時間		200		600								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		1,337	740	2,850	0							
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉街道沿線地域では、住民団体が自主的にまた定期的に、地域資源の保全活動を行うようになった。</li> <li>・住民が身近な資源を掘り起こし、観光プランにする動きが出てきている。</li> </ul>											
改革改善の考え方	①問題点	資源保全への意識や経済効果を高めるには、地域内での理解者の拡大や担い手の育成が必要である。										
	②改革提案	地域資源を活用した地域観光プランの商品化を進める中で、地域内での理解を進め、係わる住民や担い手を増やしていく。										